



おおねじめ

昭和58年7月号

№366

町の人口(7月1日現在)

男 4,442 人

女 5,017 人

計 9,459 人

6月1日より16人減

発行 肝属郡大根占町役場 題字町長



レオくんが交通指導に大かつやく(福祉センターで)

親子で

交通ルールをべんきよう

県の交通安全教育指導班が、六月二十七日、福祉センターで交通安全教室を行いました。

指導を受けたのは、大根占幼稚園の園児とお母さん方……

腹話術(全ちゃん)、ぬいぐるみ(レオくん)などで、やさしく、わかりやすく、しかも楽しい指導が行われました。

皆さん、交通事故にはじゅうぶん気をつけましょう。

(ひかり保育園でもこの教室を行いました)

毎月第3土曜日は「青少年育成の日」です

社会教育施設は着々と整備されつつありますが、運動公園をもっと効果的に活用することを考えるならば、併設して集会所（公民館）を設置すれば一層の効果が期待できたのではと感じました。

公民館活動は、町政を推進し発展させる大きな住民の力を造り出す場所でもありますので、各校区に向いて、誰もが参加しやすいような活動態勢をつくり指導することも一つの社会教育の使命であり、住民も期待するものだと思います。

◎生活関連の諸施策

大根占町が今後発展するためには、社会現象による人口増加対策を図ることこそ唯一の手段であり、住宅政策もその一翼を担う大きな課題であろうと考えられますので、できる限り配慮が望ましいと思います。

◎農業振興の施策について

農業施策は、見るべきものが目につかず残念でした。農業こそ我が大根占町の基幹産業であり、町の経済を支える柱であるので、農家所得の向上のため町の開発可能性と特性をどう活かすかを進めてほしい。そのためには、農業に対する投資を惜しまず腰の強い農業政策を推進すべきだと感じました。また、

神川貯水タンクで

農家の負担も軽減され、農家所得の向上にもつながるのではと思います。農家の現状と立場をじっくり理解し、視野を大きく広げて農業経営の在り方を考えてほしいと思います。

以上町の施設、施策について今回見聞して感じたことをありのままに列記しましたが、全ての問題について、町と住民のコミュニケーションを一層深め、納得のいくような行政で、明るい豊かな町づくりを達成されるよう祈念いたします。

今回の企画に対し、貴重な時間をさいてくださいました町当局に對しまして厚くお礼申し上げます。

夏の交通安全運動 暴走・居眠りに注意を!!



最近の交通事故には、目を見張るものも多く、居眠り、わき見運転による暴走が原因の自滅事故が多いようです。夏場を迎え、特に暑さや過労による居眠り運転の事故が予想されます。

車を運転する人は、思いやりのある運転をし、交差点や横断歩道の手前では「よく確かめる。止まる。徐行する」を実行しましょう。

子どもと老人を見かけたら徐行し、安全を確認するなど思いやりの心をもって運転しましょう。

歩行者は、道路を横断するときは、左右を確認し、必ず横断歩道を渡りましょう。特に車の前後

の横断には注意しましょう。

「この夏」これだけは守ろう。

幼児・小学生

「どうろにはとびだしません」

学校や家庭で、道路に飛び出さないよう体で覚えさせましょう。

中学生

自転車の一時停止を守ります。

高校生

二輪車で暴走はしません。

ドライバー

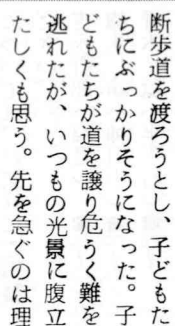
飲酒運転はしません。

女性ドライバー

安全確認をきちんとします。

お母さん

道路を渡る時は、必ずいったん止まります。



横断歩道 自転車は降りて渡ろう

断歩道を渡ろうとし、子どもたちにも危険な状況になった。子どもたちが道を譲り危うく難を逃れたが、いつもの光景に腹立たしく思う。先を急ぐのは理

登校中の子どもたちは、信号に従い左右を確認しながら足ばやに横断歩道を渡っている。突然、高校生が自転車に乗ったまま横断歩道を渡ろうとした。子どもたちは、信号に従い左右を確認しながら足ばやに横断歩道を渡っている。突然、高校生が自転車に乗ったまま横断歩道を渡ろうとした。

交通指導員 上川路照雄

解できなくもないが、横断歩道では自転車は降りて歩いて渡ってもらうと、大きな事故にならない。歩行者には、たいへんな迷惑である。「横断歩道

解できなくもないが、横断歩道では自転車は降りて歩いて渡ってもらうと、大きな事故にならない。歩行者には、たいへんな迷惑である。「横断歩道

するのルールである。免許を持った人が、さも当然のように自転車から降りて歩いて渡っているのを見かける。自動車の通行にはたいへんな障害になる。必ず交通ルールを守ってほしいと交通指導中に痛切に感じる。

朝の通勤、通学で慌ただしい時間、事故につながりやすい。朝の通勤、通学で慌ただしい時間、事故につながりやすい。朝の通勤、通学で慌ただしい時間、事故につながりやすい。

役場OBが町内巡り 議会

変ぼうした町の姿に感激?

今年、町制五十周年の年です。町内の道路や施設、各学校など、十年前と比較しますと

ちがえるほど整備され、近代的になってきています。そこで町は、役場OBの皆さん（元三役議員、元役場職員）に呼びかけ、町内巡りを計画しました。



すずしろの里で一息

五月二十七日、約四十人が町のマイクパス二台に分乗し、新築の老人福祉センターを起点に現在建設中の堂之元港、役場庁舎、厚ケ瀬橋をはじめ、各学校、神川大滝などを一日がかりで見学しました。参加者は、整備された施設や道路などを見ながら中村助役、飯屋総務課長の事業費や規模などについての説明を聞き、それぞれに昔を思い出しながら町政の発展を心から喜んでおられるようでした。

元町長の遊喜半次郎さん（九十歳）坂

元左武郎さん（七十一歳）元助役の矢野清さん（七十五歳）元議会議長の本金清さん（八十二歳）も元気に参加されました。また、参加者の中から二人の方が意見を寄せてくださいましたので、ご紹介いたします。なお紙面の都合で一部カットした部分があります。ご了承ください。

「町民の森」

小中学生の規律訓練 には最適!!

元町長 坂元左武郎

五月二十七日、役場職員、議會議員OBの町内巡りが催され参加しました。非常に良い企画であったと感じました。

かゆい所に手が届くような行政が行われていることを感じました。民主主義は、住民の要求が多く、それを満たすためには多大の経費を要することは当然であり、行政の難しさを今更ながらひしひしと感じました。

町内各施設の紹介が必要ではないかと感じました。

たとえば、神川大滝の景観や桜並木、キス釣り、町民の森な



観光に役?.....
りっぱな滝なのに

農業施策には 投資を惜しまずに

元職員 吉元美水

今回の町内巡りで、激動する社会情勢の中、我が大根占町の姿も大きく変わりつつあることを実感しました。

苦しい財政事情を抱えながら

職員が一丸となって公平に行政を推進されていることを目前に見て、町当局が住民福祉の向上をめざして努力されていることを知ることができ敬意を表したいです。

そこで、私なりに町内巡りで感じたこと、今後の展望について申し上げてみたいと思います。

◎福祉対策について

老人ホーム、老人福祉センターなどの施設が整備され、いたれりつくせりの福祉行政が推進されていることは感謝にたえません。今後は、精神的面での福祉行政を推進してほしい。たとえば、老人を抱えている家族に対して、家族が安心して働けるような老人のホームヘルパー制度を充実させ愛情ある福祉対策をお願いしたい。また、身体障害者に対する配慮が欠けているように思いました。これらの対策として、養護学校の誘致なども一考してよいのではと感じました。

◎学校教育、社会教育について

各学校とも鉄筋校舎になり、屋内体育館の建設も進み教育環境の整備には、目を見張る思いでした。今後は、教育内容をより充実させ、学力の向上について一層の努力をし、次代を担う人材の育成に力を注いでほしい。

夏休みの過ごし方

非行を防ぐ5つの`ケジメ`

待ちに待った夏休みは、もう目の前。子どもたちのはしぎ声が聞こえてくるようです。六月燈、海水浴、キャンプなど楽しい行事がたくさんあります。

しかし、少年非行の多くは、この長い休みの間に芽生えることが多いのです。

7月は「青少年を非行から守る全国強調月間」です。また夏休み期間中は「夏の防犯運動」も行われます。大根占警察署でも、この期間は、少年補導員の方々と協力しながら、少年への声かけや街頭補導を強化し、少年の非行防止運動を進めることにしています。

欲望や誘惑に負けない強い子どもにするため、わが子に限らずよその子にも声をかけるようにして、地域ぐるみで少年の非行防止の輪を広げましょう。

家庭では、夏休み中の非行を防ぐために、次のことについて考えてみてください。



地域の行事には

積極的に参加させましょう

夏休みになると、子供は外へ遊びに行く機会が増え、お金を使うことも多くなります。無駄遣いの習慣が身につかないように気を付けましょう。

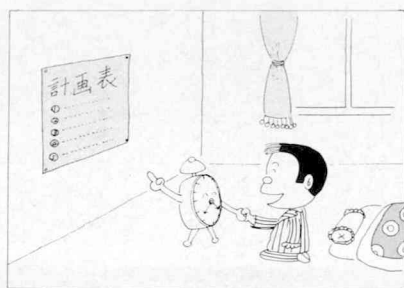
子供にお金の合理的・計画的な使い方を身につけさせるためには、例えば、毎月決まった額の小遣いを与えるのも一つの方法です。一定の金額の中でやりくりできる基本的な習慣を養ってあげましょう。

2 へお 金
計画的な使い方
身につけさせましょう

朝寝、夜ふかし、テレビを見る時間が長くなるなど、休みに入った安心感から子供は時間のケジメを忘れがちになります。また、夏休みは、遊びに行っても帰宅が遅れがちです。門限を決めて、キチンと守らせるようにしましょう。

学校を離れてのんびり過ごすのも夏休みならではの楽しみですが、前もって約束した時間には読書や家事の手伝いなど、決められたことを行うようにしたいものです。

1 へ時 間
約束した時間を
守らせましょう



3 へ計 画 性
夏休みならではの
目標を持たせましょう

夏休みは、子供が時間や物事の計画性を養う絶好の機会です。前もって夏休み中の計画表を作らせ、それをキチンと実行させるようにしましょう。

また、不得手な科目を徹底的に勉強するとか、趣味でも学習でも興味のあるものをさらに研究するといった、夏休みならではの目標を持たせ、子供が最後までやり遂げるよう、応援してあげましょう。

5 へ健康・安全
健康のありがたさを
理解させましょう

喫煙、飲酒、シンナー遊びなどは、青少年の健康な心身を確実にむしばみます。子供には、日ごろから健康の大切さを話して聞かせ、スポーツなどに興味を持たせたいものです。

また、自転車の二人乗りやクルマやバイクの無免許運転など交通事故に結び付く行為が増えるのもこの季節です。事故に遭ってからでは遅いことを、子供によく話してきかせましょう。

4 へ友達つきあい
「ノー」と言える
強さを持たせましょう

子供には、イヤなことや悪いことにハッキリ「ノー」と言える強さを持たせたいものです。悪いことを許し合ったり、いつでも行動を共にすることが本当の友達つきあいではないことを子供に教えましょう。

また、夏休みの解放感、ややもすると子供を夜遊び、盛り場、不良交友、外泊などへと駆り立てます。親は頭ごなしに怒鳴る前に、それがどうして悪いのか、子供といっしょになって考えてあげてください。

地域ぐるみで

非行防止の輪を広げよう

防犯組合組織を強化

大根占町防犯組合連絡協議会が新たに組織を建て直し、再スタートしました。

町民一人一人が防犯組合連絡協議会員として自覚していただき、防犯思想を普及徹底させ、自主防犯活動を積極的に進め、犯罪のない明るい町づくりを努めていくことを目的にしています。

六月二十日の設立総会では新規約について話し合い、事業計画

画については、現在、大きな社会問題となっている「青少年の非行」の防止活動、青少年の健全育成のための活動など、各種関係団体との連絡を密にして、防犯活動を行うことを決めました。

組織は、各部落ごととし、会費として、一戸百円を年一回徴収することになっています。防犯灯の維持費やチラシの作成などを行います。

犯罪のない明るい町づくりに町民全員で参加しましょう。

◎大根占警察署管内

少年非行 (58.1~58.5)

空巣ねらい	1人	中 学 生
車上ねらい	1人	高 校 生
自 転 車 盗	2人	高 校 生
万 引 き	3人	中 学 生
電話機荒らし	1人	無 職 少 年
横 領	1人	高 校 生
計	9人	

◎触法少年(14歳未満の少年)

万 引 き	1人	中 学 生
店 舗 荒 ら し	4人	中 学 生
計	5人	



少年問題に関する
相談は「少年補導員へ」

大根占警察署は、町内に四人の少年補導員を委嘱しています。少年問題に関する相談、指導については、お気軽にご相談ください。

吉永哲郎(塩屋) 電話二〇一九五
徳永 諭(神川中) 電話二〇八九一
青木 稔(半下石) 電話九一〇一三
吉原万蔵(麓) 電話二二七九一

社会を明るくする運動

この運動は、すべての国民が犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする運動です。

検察審査会を

ご存知ですか

交通事故で被害を受けたのに加害者は処罰されなかった。つまり警察、検察庁で調べをしたが、不起訴処分になってしまった。裁判にかけてくれなかった。どうしても納得できない。こんなときどうしたらよいのですか。

声・こえ・こえ

あいさつを
返して

「おはようございます」「こんにちは」……。子どもたちが登下校中あいさつをする。あいさつを受けながら、それを返さずに通り過ぎて行く大人を見かける。

照れくさいのだろうか。そんな態度が子供たちに不信を抱かせてしまう。

あいさつが返ってこないお腹立たしいものである。あいさつをされたら返すのが礼儀でありマナーである。



現代社会では、マナーの低下はなほだしい。

交通安全、公衆衛生など、一人一人が社会の一員として自覚し、マナーを守れば、「なんでもないこと」が多いと思われるのだが...

子どもの道徳教育が叫ばれている現在、まず「あいさつ」を励行することから心掛けてみよう。大人は、あいさつを返すことを忘れないように...

ようか。

検察審査会へ申し立て、調べ直してもらいましょう。詐欺とか、窃盗などすべての犯罪についても同様です。

費用は無料で、秘密は守られます。

◎問い合わせ先
鹿屋市打馬一丁目二番十四号
鹿児島地方裁判所鹿屋支部内
鹿屋検察審査会
電話〇九九四四二二二三三〇番へ

国民年金の話 (1)

【質】 保険料が高すぎる。今後引き上げをしないほしい。

【答】 年金制度は、若い世代がお年寄りを助け支える世代間の相互扶助によって成り立っています。つまり、若い元気な人たちが働いて保険料を納付し、その保険料でお年寄りは年金を受けるようになっていきます。

現在では、保険料を納付する若い人七人で一人の年金を支えています。三十年後には、若い人三人で一人の年金を支えることとなります。さらに、一人あたりの年金額も、掛けた年数が四十年近くになっているため、高額の年金額になります。

このように、将来、若い人たちの負担が重いものになっていくことが予想されているため、今から保険料を引き上げて、少しでも負担を軽くしようとしているわけです。

そのために、年々保険料が引き上げられてきましたが、今後もある程度の引き上げが予定されています。

老後のための年金制度を健全に維持し、価値ある年金を受けるために保険料の段階的引き上げについてご理解ください。

春季バレー大会

球友会(職域)が優勝
アタックス(女子)

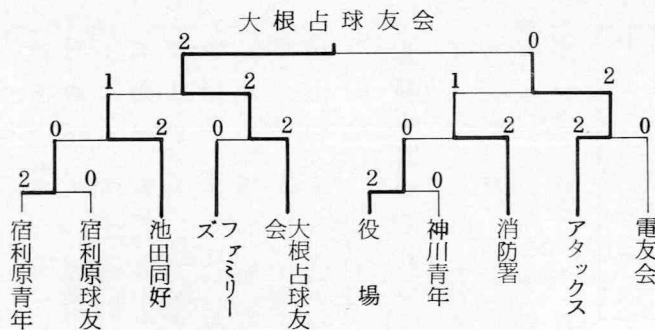
町バレーボール協会設立後の第1回町内女子バレー、職域バレー大会が、6月10日から12日にかけて行われました。女子大会ではアタックス(混成)、職域大会では球友会(混成)が優勝しました。

女子大会には、11チームが参加し、その中で、大橋部落で結成している「かあさん」チーム(平均年齢35歳)が大奮闘しましたが、平均年齢24歳と若さに湧れるアタックスチームに惜敗し、準優勝でした。

職域大会には、久々に参加の大根占土木など19チームが参加し、各校区四会場で試合が行われました。



ナイスレシーブ・健闘した土木チーム



戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

農業委員会から

農地の宅地・山林化は
必ず許可を受けましょう

最近農地に無断で家を建てたり、植林をしたりする人がいます。必ず、法の規定を守って、県知事および農業委員会の許可をうけてください。

各種の善意

町社協へ

社会福祉事業に役立ててくださ
いと次の方々から、香典返し
にかえ寄付がありました。厚く
お礼申し上げ、故人のごめい福
を祈ります。

() は故人
野間 ヨトミツ (平原 郁夫) 皆倉
室屋 卯吉 (松助) 木場
小原 庄吉 (光秋) 鳥浜
黒 頼 テル (八雄) 才原
山添 行治 (長次郎) 木場

錦江園へ

京町の中村哲雄さんから

大根占校区婦人会から

宮脇の宮下の子さんから 雑布、タオル

大根占町生活学校生の皆さんか

から 粉石けん

山口 辰二 (ツル) 神川中
田之畑 望 (裕子) 麓
川畑 満子 (浜田ハツエ) 本町